

茨城県国際理解教育推進協議会

会長 川俣 勝慶 殿

ワールドキャラバン国際理解教育実施報告書

団体名 龍ヶ崎市国際交流協会

担当者名 事務局：原 田

「ワールドキャラバン」国際理解教育については、下記のとおり実施しましたので報告します。

記

実施日時	平成23年10月23日(日) 13:00 ~ 16:00
実施場所	龍ヶ崎市文化会館小ホール
参加者と人数	会員 33名, 一般参加者 150名
派遣講師名と出身国	オレリー ノエル (フランス)
活動の内容	龍ヶ崎市国際交流委員会創立20周年及び龍ヶ崎市国際交流協会設立パーティーにおいて、記念講演を行なった。講演は「国際交流と多文化共生共生」と題し、講演を行った。講演終了後、交流会にて各国参加者のステージ披露を行うなど、講師を含め会員・参加者の交流を深めた。
今回実施されたワールドキャラバンについて評価	ワールドキャラバンの派遣ありがとうございました。ほぼ同一民族という環境の中で生きている日本人にとって、一つの国の中に様々な人種、国籍の人々が、普通に隣り合って日々生活している国(フランス等)の人の生の声での異文化共存についてのお話は、事業に参加した多くの方々が興味深く聞いたと思います。国際交流という言葉が、ほぼ死語になった時こそが、日本が本物の“国際国家”になり得た時だと思います。普通の国際国家として世界に認知される日本を目指して地域の国際理解の輪を益々広げてまいりたいと思います。オレリーさん、ありがとうございました。 <p style="text-align: right;">(龍ヶ崎市国際交流協会会長 大塚 弘史)</p>
参加者の感想	講演は、普段聞くことのできないお話を聞くことができ、大変勉強になりました。交流会では、様々な国の衣装紹介や歌や踊りなど、大変楽しくすばらしい交流ができました。以前は国際交流関係の事業によく参加していましたが、年齢的に億劫になり最近参加を控えていました。久しぶりに参加した事業が大変楽しく今後また、参加していきたいと感じました。(女性参加者)
担当者の感想	講演を聞き、フランスと日本の、外国人に対する意識や接し方の違いを再認識するとともに、国際交流や多文化共生について考える機会になりました。国際交流協会としてあらたな出発をする当協会にとっても市としても、今後の国際交流事業を考えるうえで活かしていきたいと考えます。(事務局)



茨城県国際理解教育推進協議会

会長 川俣 勝慶 殿

ワールドキャラバン国際理解教育実施報告書

団体名 龍ヶ崎市国際交流協会

担当者名 事務局：原 田

「ワールドキャラバン」国際理解教育については、下記のとおり実施しましたので報告します。

記

実施日時	平成23年12月 4日(日) 13:30 ~ 16:00
実施場所	龍ヶ崎市コミュニティセンター多目的室
参加者と人数	会員 30名, 一般参加者 20名
派遣講師名と出身国	エリーゼ ハタード (カナダ)
活動の内容	龍ヶ崎市国際交流協会ジュニア会議企画「未来サミットー異文化共生って! ? -」において、多文化共生をテーマに講演をしていただいた。 また、講演後のパネルディスカッションにパネリストとして参加していただいた。
今回実施されたワールドキャラバンについて評価	講演については大変分かり易く、この事業に参加した皆が興味深く講話に聞き入ったと感じています。また、パネルディスカッションのパネリストとしても参加していただきましたが、パネリストの子供たちを含め参加した子供たちが皆、「楽しく異文化に関して学ぶことができた」と大変満足しています。今回の事業でご協力いただきました交流員:エリーゼさんに感謝申し上げます。 ジュニア会議では、今後も子供たちの国際理解を推進できるような事業を実施してまいりたいと考えておりますので、ご理解ご協力の程よろしくお願いたします。 (龍ヶ崎市国際交流協会会長 大塚 弘史)
参加者の感想	講演内容が大変分かりやすく、興味を持って聞くことができた。パネルディスカッションでは、異文化共生に関する若者たちの素直な意見が聞け、パネルディスカッション・講演ともに、自分たちも多文化・異文化について考えるいい機会となった。(参加者)
担当者の感想	講演・パネルディスカッションともに、多文化共生について興味を促す、大変分かりやすい内容で、カナダなど他国の多文化共生事情に触れることができました。また、国際交流に携わっていく当協会にとって、多文化共生について考えることは根本であり重要なことだと再認識することができました。 中高生を対象に本事業の周知を行ないましたが、来場者が当初予定より少なかった事は大変残念で、次回以降の事業実施への反省点と考えます。(事務局)

